

# 第54回 全国学生躰道優勝大会

## 大会実施要項

本要項に基づき大会を実施致しますので、記載内容を踏まえて稽古・審査等を計画頂き、各種目にエントリーして下さい。なお、「種目別出場選手申込書」等の提出締め切りを厳守の上、積極的に参加されますようお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染予防対策に関して、本大会参加者全ての方に順守頂きたい事項については、本要項とは別に『第54回全国学生躰道優勝大会 新型コロナウイルス感染対策基本方針』を取りまとめておりますので、熟読の上、当該内容を順守頂く前提でご参加くださいます様、お願い申し上げます。

大会会長 工藤 善己

大会実行委員長 春日 世生

大会実行副委員長 本田 拓馬

## (1) 大会運営・進行概要

### 1. 主催と後援

主催 : NPO 法人 日本剣道協会  
後援 : スポーツ庁・埼玉県 (予定)

### 2. 開催日時 : 令和3年10月17日(日)

### 3. 会場: 埼玉県立武道館

〒362-0032

埼玉県上尾市日の出4-1877 TEL: 048-777-2400

JR高崎線「上尾駅」(東口)下車、徒歩約25分・タクシー約10分

JR上尾駅(東口)からバスが運行しています。

上尾市内循環バス[ぐるっとくん、上尾駅東口発、原市循環(水上公園先回り)]「水上公園入口」  
または「スポーツ総合センター」下車 徒歩3分 (詳細は下記ホームページをご確認下さい。)

<https://www.saitama-budoukan.jp/shisetsugaiyou/access.html>

### 4. 集合時間・場所 入館時間(予定の為、変更の可能性あります)

	集合時間	入館時間	集合場所
大会役員	8:15	午前8:30	埼玉県立武道館 正面入口
出場選手	8:00	午前8:45	

入館は各団体時間差での入館となります。また、観覧席については、大学毎に座席エリアを事前に決定し、間隔をあけて着席・観覧を頂きます。入館後は更衣室や観覧席にて速やかに剣道着に着替え、三密を避けて競技コートフロアの他、観客席や施設内の空きスペースで各自準備体操を行ってください。なお、**午前9:20までに観覧席の所定位置着席**して頂き、諸注意事項の伝達を行います。(入館順序や観覧エリアの詳細は、別途ご連絡致します。)

### 5. 選手変更受付

**個人種目出場選手の変更は一切できません。**

団体種目出場選手の変更は、大会前日設営時の10月16日(土)19:00までに大会会場にて実行委員長に連絡して下さい(厳守)。また、選手変更によって出場することになった選手が、**他の競技にエントリーしていない場合または補欠のみのエントリーであった場合は、基本出場費(¥4,000/1名)が別途必要**となりますので、大学名および変更選手名を明記した封筒に必要な金額を入れて、提出してください。

**但し、新人団体系形競技のみ選手変更に関わる基本出場費の別途徴収はいたしません。**

それ以降の選手変更は、後述の補欠制度適用の場合を除き一切認めませんので、注意して下さい。

### 6. 競技開始 : 午前9時45分(予定)

体操終了後、「競技スケジュール」の一番初めに開始する種目に出場する選手は指定された競技コートへ集合し、選手係の点呼を受けるとともに指示に従ってください。

その後の競技に出場する選手は、それぞれの競技の開始予定時刻の10分前までに集合してください。但し館内放送があった場合には、その指示に従ってください。

複数種目出場選手で、競技時間が団体種目と個人種目で重複した場合、原則として団体種目よりも個人種目を優先させ、団体種目で重複した場合には1番目に実戦・2番目に法形・最後に展開の順で出場してください。但し、競技コート役員から別途指示があった場合は、上記の優先順位に係わらず、その指示に従ってください。また、競技種目が重複し他のコートへ移る場合は、当該競技コートの選手係にその旨を報告し、了解を得てください。

7. 開会式 : 午前9時30分～午前9時45分(予定)

今大会はコロナ対策として、簡易的な開会式となります。

選手の整列は行わず、観覧席からの参加とします。

8. 閉会式

今大会はコロナ対策として、閉会式は行いません。

予選から決勝までを一度に行い、競技終了後にコート内で審判員よりメダルの授与を行います。

(賞状については、後日郵送となります。)

9. 表彰式 : 表彰授与は各コートで行います。

(1) 総合成績・・・総合優勝校には、総合優勝旗・総合優勝杯(持ち回り用)・賞状を贈呈します。総合第2位、第3位の大学には、賞状を贈呈します。

(2) 団体種目・・・優勝チーム・第2位のチーム・第3位のチームいずれにも賞状を贈呈します。選手にはメダルを贈呈します。

(3) 個人種目・・・優勝選手・第2位の選手・第3位の選手のいずれにも賞状・メダルを贈呈します。

(4) 最優秀選手・優秀選手・・・賞状・盾を贈呈します。

(5) 技能賞・・・賞状を贈呈します。

※ 総合優勝、最優秀選手賞、優秀選手賞、技能賞については、即日ホームページでの発表とし、褒章及び賞状の授与は後日郵送と致します。

10. 会場の撤去

全競技終了後、役員及び一部の学生など限られた人員で会場の撤去を行います。(撤去作業に対応する人員については、事前に調整の上、対象の団体等へご連絡致します。)また、大会進行役員は、それぞれが使用した備品をチェックし収納ケースに保管すると共にその他の備品類の梱包・搬出作業をしてください。

11. 試合会場の生配信

コロナ対策として、会場に来られない方にも試合を見ていただけるよう、各コートにライブカメラを設置し、生配信を行う予定です。

## (2) 競技について

### 1. 競技種目と出場枠

**\*資格から外れている選手の出場は一切認めませんので、間違いのないよう確認をお願い致します。**

競技種目	出場枠	出場資格 <sup>※1</sup>	注意事項	選手変更
男子個人実戦競技	2名	初段以上の男子	面ピット(選択可) <sup>※6</sup> ・プロテクター着用 試合時間1.5分 <sup>※7</sup> (予選・決勝全て)	不可
女子個人実戦競技	2名	初段以上の女子	面ピット(選択可) <sup>※6</sup> ・プロテクター着用 試合時間1.5分 <sup>※7</sup> (予選・決勝全て)	不可
男子個人法形競技	2名	原則として初段以上の男子 <sup>※2</sup>	1・2回戦：捻体の法形 3回戦以降：体の法形から選択 <sup>※5</sup>	不可
女子個人法形競技	2名	原則として初段以上の女子 <sup>※2</sup>	1・2回戦：捻陰の法形 3回戦以降：陰の法形から選択 <sup>※5</sup>	不可
男子団体実戦競技	1チーム	原則として初段以上の男子 <sup>※2</sup>	1チーム5名 <sup>※3</sup> 面ピット(選択可) <sup>※6</sup> プロテクター着用・試合時間1.5分 <sup>※7</sup> (予選・決勝全て)	可
女子団体実戦競技	1チーム	原則として初段以上の女子 <sup>※2</sup>	1チーム5名 <sup>※3</sup> 面ピット(選択可) <sup>※6</sup> プロテクター着用・試合時間1.5分 <sup>※7</sup> (予選・決勝全て)	可
男子団体法形競技	1チーム	原則として初段以上の男子 <sup>※2</sup>	1チーム5名、男女混合不可 体の法形から自由	可
女子団体法形競技	1チーム	原則として初段以上の女子 <sup>※2</sup>	1チーム5名、男女混合不可 陰の法形から自由	可
男子団体展開競技	1チーム	原則として初段以上の男子 <sup>※2</sup>	1チーム6名、男女混合不可 背番号着用	可
女子団体展開競技	1チーム	原則として初段以上の女子 <sup>※2</sup>	1チーム6名、男女混合不可 背番号着用	可
新人団体法形競技	2チーム <sup>※4</sup>	令和3年4月以降に剣道部に 入部した5級以下の男女	1チーム5名 旋体・旋陰から選択	可

**※1：出場資格の段級位は、昨年からのコロナ禍における各大学の活動状況を鑑み、今大会に限り大会当日までに出場資格への昇級見込みである者の申込も可とします。**

**※2：「原則として初段以上」とは、監督の推薦があれば下記の級位も出場可とするという意味です。但し、出場種目申込み時に、「種目別出場選手申込書」のエントリー情報欄に監督推薦者であることがわかる様チェックを入れるとともに、各大学の監督は同申込書及び本要項の内容を確認し、提出を承認することを「書類確認・提出承認書」の提出により明示してください。  
**なお、監督推薦は人数不足などの理由で出場させるのではなく、あくまで原則規定している出場資格に相当する実力を有している選手に限り、推薦するようお願いします。****

<監督推薦の基準>

10月17日(日)までに下記の級位を取得しているものに限る。(見込み可)

競技種目	監督推薦出場資格
個人法形	監督推薦により3級以上も可
団体法形	監督推薦により5級以上も可(令和3年3月以前に入会した学生に限る)
団体展開	監督推薦により5級以上も可(令和3年3月以前に入会した学生に限る)
団体実戦	監督推薦により1級以上も可

※3：団体実戦競技においては原則として1チーム5名ですが、3人以上でエントリー可とします。

※4：新人団体競技においては、**最大2チーム**まで出場可能です。

このとき、**旋体チームには3人以上男子選手・旋陰チームには3人以上女子選手をメンバーに入れてください。**補欠選手により選手構成が変化する場合もこれを守ってください。前述の規定内であれば出場するチーム数を問わず、体・陰の指定はありません。

なお、2チーム出場の場合、同一選手が2つのチームに重複して出場することはできません。

※5：**個人法形競技の指定法形は1・2回戦捻体（男子）捻陰（女子）、3回戦以降は、体の法形（男子）または陰の法形（女子）から自由選択です。**

※6：面ピットは男女共に着用を選択できるものとし、ただし、団体実戦で監督推薦により**級位の選手が出場する場合は、男女共に必ず面ピットの着用を義務付ける**ものとし、

また、初段以上の選手でも、**当該選手の実戦競技の経験や実力を鑑み、各大学の指導者の責任において面ピットの着用有無を判断**頂く様、お願い致します。

また、コロナ感染予防の観点から、防具類の共用は原則禁止とし致します。止むを得ず共用する場合は、各団体の責任において都度必ずアルコール消毒等を実施するようにしてください。

※7：実戦競技の競技時間は、マスク着用の観点から団体・個人・男女を問わず全ての種目において予選・決勝共に1分30秒とします。また、3位決定戦及び決勝以外は延長戦を行いません。

## 2. 出場資格と制限

### (1) 出場資格

- ① 日本剣道協会に登録されている大学・短期大学の剣道部の部員で、令和3年9月分（第2期）までの協会費が登録時より継続的に支払われていること、「正会員」は令和3年度までの正会員費が継続的に支払済みであること。
- ② 看護学生、医学部5・6年生、留学生については、剣道部のある大学に学舎を持ち、同大学の剣道部員として活動し、上述の規定を満足する者は出場を認める。
- ③ 一般道場生については、協会費または正会員費を納入している学生であることを条件に、**個人種目に限り**出場を認める。なお、学生の定義は、学校教育法における高等教育機関のうち以下に在籍している者とする。
  - 4年制大学の1～4年生
  - 6年生制大学（医歯薬・獣医学部）の1～6年生
  - 短期大学の1～2年生
  - 高等専門学校（短大生扱い）の4,5年生
- ④ **以下の者は、本大会の学生の定義外とし、出場を認めない。**
  - 4年生大学の大学院生

- 高等専門学校の1～3年生（高校生扱い）
- 学校教育法における専修学校の在籍者（いわゆる専門学校生）
- 教育機関のうち、通信制大学のみ在籍する者
- 教育連携制度等により『通信教育生』として③の高等教育機関に入学し、教育を受けているもの。
- ①～③の規定を満足しているが、③に規定する高等教育機関に初めて入学した後の経過年数が6年を超える者。（7年目の留年生・別の大学に入学し直した場合など）
- 留年等により標準的な教育機関在籍年数を超過した者。（4年生大学の5,6年生等）
- ①及び②に規定する剣道部員については、初めて剣道部員として活動する高等教育機関に入学した時点を始期とし、その後の経過年数が6年を超える者。また、一般道場生については、③に規定する高等教育機関に初めて入学した時点を始期とし、その後の経過年数が6年を超える者。（7年目の留年生・別の大学に入学し直した場合など）

(2) 出場制限

**1人3種目まで**とし、これに違反した場合は該当選手の出場種目すべて失格となります。  
「(3) 推薦選手枠」に該当する選手にも、この出場制限が適用されるので注意してください。

(3) 推薦出場枠

前年度個人種目ベスト3選手のうち、今年度大会も出場資格を有する場合は、出場枠とは別に実行委員会の推薦で出場できます。（※ 前回大会中止により、今大会の推薦出場はありません。）

(4) 補欠制度

全ての団体種目に関して、大会途中怪我などによる棄権者がでた場合、申し込み時にエントリーされている補欠者各1名を出すことができる制度。**補欠も1種目とするため、補欠種目も含め3種目が上限**となります。

**<補欠適用条件>**

- ・ 競技中の怪我によりドクターストップが下され、申し込み時よりエントリーされた補欠者がいる場合のみ、次の試合より変更可能。
- ・ 変更の際は、各コート責任者に必ず報告し、本部で承認されてからの変更となる。
- ・ 一度補欠を適用した後は、元の選手が回復したとしても戻すことはできません。

\* ドクターストップが下された場合はいかなる理由でもその後の試合には参加できません。ドクターの判断を無視した場合は、全競技の得点が無効となりますので注意してください。

(5) 棄権・ドクターストップ・補欠制度等について

全競技種目における、棄権・ドクターストップ・補欠制度等については、日本剣道協会審判局から2014年9月5日付で発行された同内容の通知書（本要項にも添付）に従うものとします。但し、同通知書と本要項の記載内容に差異がある場合は、本要項の内容を優先するものとします。

(6) 注意事項

**全ての競技種目において、出場資格と制限から逸脱して競技に出場していることが発覚した場合、故意または過失に係わらず、当該選手の所属する大学が出場する全ての競技の得点が無効となりますので、注意してください。**

### 3. 選手の遵守事項

- (1) 出場選手は「剣道五条訓」を練習しておいてください。
- (2) 大会当日には、学生証・「健康保険証」を必ず持参してください。持参せずに写しで治療を受ける場合、一部の病院では医療費の全額支払いを求められる場合があります。  
なお、大会に出場した選手は、実行委員会の手配にて保険に加入頂きますので、大会中の怪我による治療に対して保険申請を行いたい場合は、実行委員会までご連絡下さい。
- (3) 出場選手は日本剣道協会公認の剣道着を着用してください。剣道着の左右の上腕部に大学名や個人名を入れることや、一般的な常識範囲内のマークを取り付けることは認められています。
- (4) 出場選手は、剣道着の背面部に所属する大学名のゼッケンを必ずつけてください。ゼッケンの無い選手の出場は認めませんので注意してください。  
なお、ゼッケンの大きさは、縦 7cm×横 20cm とし、白い布地に黒字（漢字）とします。
- (5) 団体展開競技に出場する選手は剣道着の背面部に背番号のゼッケン（主役＝主・旋技＝1・運技＝2・変技＝3・捻技＝4・転技＝5）を、必ず取り付けてください。  
なお、背番号ゼッケンの大きさは、約 20cm 四方とし、白い布地に黒字とします。
- (6) 実戦競技に出場する選手は、指定プロテクターを必ず剣道着の下に着用してください。また、面ピットは男女ともに着用を選択できるものとし、着用する場合は、日本剣道協会公認の面ピットを着用してください。ただし、級位選手が実戦競技に出場する場合は、面ピットを必ず着用してください。なお、プロテクターは 1 階競技会場に入場する前に着用し、会場での取り付けは一切しないようにお願いします。  
※ 面プロテクターについて、怪我等の理由によりドクターからの特別な指示がある場合は、事前にご連絡ください。実行委員会及び日本剣道協会審判局で検討させていただきます。  
※ コロナ感染予防の観点から、防具類の共用は原則禁止とし致します。止むを得ず共用する場合は、各団体の責任において都度必ずアルコール消毒等を実施するようにしてください。
- (7) 出場選手は、自身の段級位に合致した帯を着用してください。

以上の規定に違反すると失格となりますので、注意してください。

更に、以下の場合も出場できないので注意してください。

- ・ 剣道着の背面部に、所属大学名又は背番号のゼッケン以外の物を取り付ける。
- ・ 故意に団体展開競技の番号に、団体・大学名を入れる。
- ・ 左胸部の「剣道」のマークを他のものに替える。
- ・ 袖口や袴を、短く切ったり捲ったりする（中段構えの際に、肘が出たりふくらはぎが出ているものは違反と見なします）。

## 4. 競技の判定

本院公認審判（研修生も含む）に審判を依頼し、「審判規定」に則って各競技の判定を行います。各競技の結果に従って、「総合成績※1」「最優秀選手・優秀選手※2」「技能賞※3」を決定します。

## ※ 1「総合成績」

総合成績は、各種目の入賞得点を下表の通りとし、大学単位で合計得点の高い順に表彰します。

順位別得点表		(点)			
\	優勝	2位	3位	4位	
団体種目	10	6	3	1	
個人種目	7	4	2	1	

同位の場合には、優勝→2位→3位→4位の順で多い方を上位とし、それでも同位の場合は、団体競技種目での入賞が多い方を上位とします。

## ※ 2「最優秀選手・優秀選手」

最優秀選手は1名、優秀選手は2名を上限として、大会会長・審判審議長・審判長の協議によって選出・決定します。なお、試合の状況により、該当選手がいない場合もあります。

## ※ 3「技能賞」

今年度のテーマである『捻技』の優れた選手1名・もしくは団体1チームを大会会長・審判長の協議によって選出・決定します。なお、試合の状況により、該当選手がいない場合もあります。



### (3) 関係書類の提出と大会出場費の納付

#### 1. 提出すべき関係書類と作成者

No.	書類名称又は連絡内容	作成者	備考
(1)	種目別出場選手申込書	指導者又は学生代表者	データ (Excel) 提出
	昼食弁当注文数量	学生代表者	希望団体のみデータに入力し提出
(2)	書類確認兼提出承認書	各大学監督	郵送・Fax・PDF (メール) で提出
(3)	各大学剣道部の紹介文	学生代表者	Google フォームにて文章やデータ
(4)	各大学剣道部の写真	学生代表者	(JPEG) をアップロード

#### 2. 提出期限

- ・(3)(4)については、**令和3年9月9日(木) 午前中 必着**にて Google フォームにてアップロードをして下さい。
  - ・(1)(2)の書類は、**令和3年9月16日(木) 午前中 必着**にて提出して下さい。
- \*提出期限が過ぎた場合は出場を一切認めませんのでご注意ください。\***

#### 3. 提出先

- ・(1)の書類 (Excel データ) の提出・連絡は、全てメールで **taido.univ@gmail.com** までお送り下さい。
- ・(2)の書類は、監督の署名・捺印とともに下記宛に郵送 (必着) ・FAX するか、署名捺印済みの同書類を PDF にして、メールで **taido.univ@gmail.com** までお送り下さい。

〒164-0011

東京都中野区中央5丁目38番13号エスエス10 A702

NPO法人 日本剣道協会 大学委員会

TEL : 03-5342-2322

FAX : 03-5342-2321

## 提出書類・必要連絡内容 一覧

- (1) 種目別出場選手申込書 <Excel データ提出> **提出期限：9月16日午前中 必着 厳守**  
 出場規定をよく確認し、所定の事項を入力して、Excel データにて提出してください。  
 なお、データの編集・入力は、必ず Excel 2007 以降の Microsoft 純正ソフトウェアで行ってください。 (OpenOffice や Google スプレッドシートなどのソフトウェアは使用しないでください。)  
 \* 申込み〆切時点で、出場資格を満たしていない者の出場は一切認めません。  
 Excelデータは複数のsheetになっています。個人種目出場者の各地区大会入賞実績等がある場合も、同データに入力して提出をお願い致します。  
 また、種目別出場選手申込書には、昼食弁当注文数量入力欄があります。大会当日の昼食弁当を希望する団体は必要数量を入力の上、提出して下さい。なお、昼食代金(1食800円×必要数量)は大会出場費の納付指定口座へ令和3年9月16日(木)までに振り込んで下さい。  
 昼食代金の振込の際は、大会出場費とは別に大学単位で人数分振り込んでください。また、名前変更ができる場合は、振込者名の前に弁当の「べ」を記入してください。  
振込が完了したら、振込金額と振込日を実行委員会のメール宛 (taido.univ@gmail.com) に連絡してください。
- (2) 書類確認兼提出承認書 <郵送・FAX・PDF 提出> **提出期限：9月16日午前中 必着 厳守**  
 監督が本要項の内容とそれに従った種目別出場選手申込書となっていることを確認・承認した上で、署名・捺印をし、郵送もしくは FAX にて送付するか、PDF にてメールでお送りください。
- (3) 各大学剣道部の紹介文 <Google フォームに回答> **回答期限：9月9日午前中 厳守**  
 プログラム上で各大学剣道部の紹介を記載しますので、下記内容をGoogleフォームにて回答下さい。(Googleフォームの回答URLは後ほどご連絡致します。)  
 ・ 団体名  
 ・ 部員数  
 ・ 部長 氏名 ※学生の代表者ではありません。各大学の部長先生のお名前を御連絡下さい。  
 ・ 監督 氏名  
 ・ 監督補 氏名  
 ・ コーチ 氏名 (2名以内)  
 ・ 主将 氏名  
 ・ ホームページアドレス  
 ・ 紹介文 (120字以内) ※120字を超えている場合は、実行委員会で適宜削除します。
- (4) 各大学剣道部の写真 <Google フォームでアップロード> **投稿期限：9月9日午前中 厳守**  
 プログラム上で掲載致しますので、データ (JPEGデータ) をアップロードしてください。  
写真は集合・整列したもとし、可能であれば、剣道着用で監督の先生方と一緒に写っているものにしてください。 (Googleフォームの回答URLは後ほどご連絡致します。)

## 4. 大会出場費の納付

よく理解して納金するようにしてください。なお、推薦枠で出場する選手の種目費（個人競技）は必要ありません。

出場費区分		競技種目	金額
基本出場費		全競技種目	4,000
種 目 費	個人競技	個人実戦・個人法形	1,000
	団体競技(5人)	団体系形	5,000
		新人団体系形	5,000
		団体実戦	5,000
団体競技(6人)	団体展開	6,000	

各大学が出場する種目の枠を要項の上限にしたがってエントリーします。

(例) 個人競技4種目、団体競技として団体系形2チーム・団体展開1チームのエントリーをし、エントリーした選手総数が15人の場合

- ・基本出場費 (A) = @4,000×15 = ¥60,000
- ・種目費 (B) = @1,000×4 + @5,000×2 + @6,000×1 = ¥20,000
- ・納金金額 (A+B) = ¥60,000 + ¥20,000 = ¥80,000

なお、選手一人当たりの支払う金額は各大学で精算していただきます。

※ **棄権による返金は一切ありません。**

※ **前日の選手変更によって出場することになった選手が、他の競技にエントリーしていない場合または補欠のみのエントリーであった場合は、基本出場費（¥4,000/1名）が別途必要となりますので注意してください。**

但し、新人団体系形競技のみ選手変更に関わる基本出場費の別途徴収はいたしません。

※ **補欠のみのエントリーについては、基本出場費は不要です。**

大会出場費は令和3年9月16日（木）までに下記口座へ振り込みで納付して下さい。

<銀行振込の場合>

ゆうちょ銀行：〇一九店（ゼロイチキョウ店） 店番 019

預金種目：当座 口座番号：0040646

口座名義：特定非営利活動法人日本剣道協会

<郵便振替の場合>

口座番号：00120-0-40646

口座名義：特定非営利活動法人日本剣道協会

※ **振込名記入に関する注意**

- ・大会出場費を振り込む場合・・・大学名の前に大会の「タ」を記入（名前変更が可能な場合）
- ・弁当代を振り込む場合・・・大学名の前に弁当の「ベ」を記入（名前変更が可能な場合）

**出場費と弁当代は個別に振り込んでください！！**  
**振込後は、実行委員会メール宛にその旨連絡をお願い致します！！**

## (4) その他

### 1. 個人情報の取り扱い

NPO法人 日本剣道協会は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を順守し、以下の(1)～(3)の目的においてのみ、今大会へ出場を申し込む選手の個人情報を取り扱います。なお、大会へのお出場で申込まれた時点で、当該事項に了承いただいたものと致します。

- (1) 取得した個人情報を資格審査、大会情報の編成及び作成、記録発表、公式ホームページその他大会運営及び運営に必要な情報連絡等に利用します。また、主催・後援媒体等による報道目的の取材や、協賛・協力・関係団体によるサービスの提供等に利用することがあります。
- (2) 本大会の映像・写真・記事・個人記録等は、NPO法人 日本剣道協会が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがあります。
- (3) 競技者は本大会に関する著作権、肖像権その他一切の知的財産権を、大会参加の時点でNPO法人 日本剣道協会に無償にて譲渡するものとします。競技者はNPO法人 日本剣道協会または第三者による知的財産権の利用につき、著作者人格権を行使しないものとします。従って、NPO法人 日本剣道協会は競技者に事前に通知することなく、また、改めて承諾を得ることなく、NPO法人 日本剣道協会の判断により無償かつ自由に、NPO法人 日本剣道協会または第三者をして、本大会に関する著作物等を自由に配信、複製、加工、削除、編集、頒布、二次著作物の作成その他の方法で利用することができるものとします。

### 2. 大会保険について

今大会に出場する選手は、実行委員会で保険に加入します。大会中に怪我をされた選手は、実行委員会までお申し出下さい。保険内容や手続きの詳細については、保険適用の申し出のあった方へ直接保険会社よりご連絡を致しますので、ご対応下さい。

実行委員会から治療費実費をお支払いする事や保険適用手続きの代行はできませんので、ご理解頂いた上でお申し込みされますようお願い申し上げます。

### 3. 会場の設営

令和3年10月16日（土）に埼玉県立武道館に集合し、大会進行役員の指示に従って競技コートの設営を行います。なお、設営の詳細な時間や人員要請、設営完了後の会場開放（練習可を予定）については、追って実行委員会から各大学へ連絡を致します。

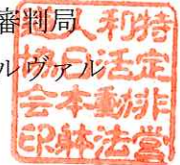
### 4. 宿泊の手配

各大学でお調べいただき、予約手配を行ってください。

なお、埼玉県立武道館へ宿泊場所紹介などの問い合わせをしないようにしてください。

2014年9月5日

## 棄権・ドクターストップ・補欠制度等に関する通知書

NPO 法人日本躰道協会 審判局  
審判局長 ヒューゴソン アル

拝啓

新涼の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記の件、過日はアンケートにご協力頂き、誠にありがとうございました。その結果、下記の通り決定致しましたので、ご案内申し上げます。

つきましては、内容をご確認のうえ、関係各位への周知徹底をよろしくお願い致します。

すでに大会要項が出ている全国大会においては、可能な範囲でこの通知書の内容に準じて開催して頂きたいと存じます。(来年以降は、通知書の内容で統一して頂くようお願い致します。) 尚、ご意見、ご質問等ございましたら、審判局までご連絡をお願い致します。

敬具

## 記

## 【棄権】

## 定義

- ・自らの意思によるもの。(怪我、遅刻等)

## 決定事項

- ・個人戦で棄権の場合、その後の該種目への出場は不可。
- ・団体戦で棄権した場合、その後の該種目への再出場を認める。  
(例)
  - ・怪我で午前中に団体実戦を棄権した後の次戦以降への再出場
- ※ただし、体力温存等戦略的な棄権の場合、再出場は認めない。
- ・棄権した種目以外の種目への出場は認める。

## (実戦競技における判定例)

- ・赤の選手の蹴りが白の選手の顔面に当たり(失格を言い渡す程ではない)、白の選手が大事を取って自ら棄権を申し出た場合。

⇒赤に注意を与えた後、「白棄権につき、赤の勝ち」となる。

## 【ドクターストップ】

定義

- ・当日の医療班の指示によるもの。

決定事項

・ドクターストップを言い渡された選手は、安全性の観点や現時点での医療班の充実が難しいことから、これまで同様、該種目のみならず、その後のその大会の全ての競技(個人戦、団体戦に関わらず)への出場を認めない。

## (例)

- ・午前中の団体実戦予選でドクターストップとなったが、チームが午後の決勝まで残った場合。
- ・2日間開催で1日目にドクターストップを言い渡されたが、チームが2日目に残った場合(2日間開催でもその大会を一つと考える)。

## (実戦競技における判定例)

・赤の選手が何もしていないにも関わらず、白の選手が突然骨折してドクターストップとなった場合。

⇒「白ドクターストップにつき、赤 一本」となる。

・赤の選手が例えば、倒れている相手の顔面へその場で何度も蹴りを繰り返し、白の選手がドクターストップとなった場合。

⇒「赤失格につき、白 一本」となるが、白はドクターストップのため、次戦には出場できない。

## 【補欠制度】

決定事項

- ・補欠も種目制限の対象とする。
  - ・補欠制度を利用した場合、元の選手の復活は不可。
  - ・怪我等やむを得ない場合のみ制度の利用可。
  - ・各競技の補欠人員は以下の通りとする。
    - ・団体法形競技：1名
    - ・団体実戦競技：1名
    - ・団体展開競技：1-6名
  - ・補欠のみの選手の出場費もこれまで同様、選手と同額とする。
- ただし、団体展開競技は補欠人員が何名であっても1名分の出場費とする。
- ・補欠の選手が出場しない場合でも、余計な混乱と煩雑な作業を避けるため、これまで同様、返金はしない。



## 【その他】

団体競技における決定事項

- ・団体戦において、棄権、ドクターストップ等により、決勝に出場するチームが1～3つになった場合、次の基準に則り、決勝戦を行う。
  - ・団体法形競技：5位以下のチームを順に繰り上げ
  - ・団体実戦競技：繰り上げなし
  - ・団体展開競技：5位以下のチームを順に繰り上げ

実戦競技における決定事項

- ・個人実戦競技
  - ・3位決定戦及び決勝戦の2試合のみ延長戦を行う(1分間を1回まで)。
- ・団体実戦競技
  - ・人員が3名に達しない場合は、出場資格なし。
  - ・代表戦は1回まで。
    - ・1試合目が先攻であったチームは代表戦では後攻となる。
    - ・背番号は元の番号と同じとする。
    - ・それでも勝敗が決まらない場合、その代表者同士による延長戦を行う(1分間を1回まで)。
    - ・代表戦の延長戦でも勝敗が決まらない場合は、審判が内容を判断し判定を下す。

尚、上記の内容は日本躰道協会主催の全国大会で設定させていただくもので、面ピットに関しては、以下を正式なルールとして通知致します。併せてご確認のうえ、周知徹底をよろしくお願い致します。

- ・男女問わず、初段未満もしくは中学生以下の選手は必ず協会公認の面ピットを着用しなければならない。
- ・それ以外の選手は任意で協会公認の面ピットを着用することができる。

以上